令和７年度　新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）

交付申請事業の評価について

１　趣旨

総合計画（総合戦略）に基づいた事業であるため、本会議で交付事業の報告及び効果検証を行います。なお、令和７年度より「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）」とし、事業の評価結果・改善方策まで公表が義務化されたことに伴い、以下のとおり評価を行います。

２　評価方法について

本市の実行プランの指標と連動させた効果検証を行います。評価については、連動した成果指標の平均点から算出した評価区分と事業の取り組み内容や成果をふまえ、ご意見をいただいたもので効果検証とします。

実行プラン KPI 評価区分	評　価
A評価 （平均 3.5 点以上）	①本事業は地方創生に非常に効果的であった。
B評価 （平均 2.5 点～ 3.4 点以上）	②本事業は地方創生に相当程度効果があった。
C評価 （平均 1.5 点～ 2.4 点以上）	③本事業は地方創生に効果があった。
D評価 （平均 1.4 点以下）	④本事業は地方創生に対して効果がなかった。

※ABCD 評価の平均算出方法について

成果指標の評価を点数（A=4、B=3、C=2、D=1）に置き換え四捨五入したものを平均値として算出しています。

（参考例）

重要施策 KPI、個別施策 KPI の平均評価が「3.25」の場合の判定は、「B」評価となります。

評価判定	B

↓

有識者評価	②本事業は地方創生に相当程度効果があった。
意見	目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

令和７年度　新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）交付申請事業について

１　令和７年度 事業一覧

・ 事業費：29,104,329円
・ 交付額：14,551,664円
※国庫補助率：事業費の２分の１

制度	No.	事業名	令和７年度事業費（円）	令和７年度交付額（円）	関連する指標	評価平均点	評価区分	取り組みの検証（内部評価）	有識者からの評価	備考
新制度ソフト	1	**大阪・関西万博を契機とした地域連携によるインバウンド向け観光プロモーション事業**	**4,072,619**	**2,036,309**	重要施策 3 個別施策 55,56,57,58	2.8	B	大阪・関西万博での東北絆まつり、なかの東北絆まつり、NIHONBASHI SAKURAFESへ参加。東北絆まつりが小規模会場（EXPOアリーナMATSURI）であったことからプロモーション接触者数が目標に未達。	目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。	※事業実施期間 令和７年度～令和９年度
		① 東北六市連携プロモーション事業（東北六市連携事業）	4,072,619	2,036,309						
	2	**多様な人材活用促進事業**	**199,960**	**99,980**	重要施策 20,22 個別施策 27	1.7	C	外国人材迎え入れセミナーの参加者が少ない。市が独自で行っている事業所向けアンケート調査によると、人手不足であるにもかかわらず外国人の雇用を検討していないと回答する事業所が多いため、制度理解が進んでいないことが考えられる。	目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。	※事業実施期間 令和７年度～令和９年度
		① 外国人雇用推進事業	199,960	99,980						
	3	**福島県観光勧誘促進プロジェクト**	**7,531,750**	**3,765,875**	重要施策 3 個別施策 55,56,57,58	2.8	B	本事業によりふくしまDCを契機とした三名湯の受け入れ態勢整備とブランディングおよびDCフラッグ設置とパンフレット作成による受入態勢強化を実施したが、事業効果の定量的な検証が十分に行えなかったため、効果検証を行いながら有効な手法を検討していく必要がある。	目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。	※事業実施期間 令和７年度～令和９年度
		① ふくしまデスティネーションキャンペーン事業	4,352,750	2,176,375						
		② ふくしま三名湯誘客促進事業	1,496,000	748,000						
		③ 観光施設バリアフリー化整備事業	1,683,000	841,500						
	4	**エアロスペース人材育成事業**	**4,700,000**	**2,350,000**	重要施策 14 個別施策 53.56	2.7	B	ふくしまスカイパークで実施したイベントでは、年間延べ3,500人の来場者があり、メディア露出による発信効果もあった一方で、来場者へのアンケートが振るわず、関心のある層の洗い出しは不調に終わった。今後、イベント実施時のデータ取得の手法については改善が必要である。	目標達成に向けて順調に進んでいる。今後は航空宇宙関連などの新産業創出や魅力ある雇用創出に向けた広域的な連携・取り組みの強化を期待する。	※事業実施期間 令和７年度～令和９年度
		① ふくしまスカイパーク活用推進事業	4,700,000	2,350,000						
旧制度推進タイプ	5	**農業で人と人をつなぎ人を呼び込むふくしま活性化プロジェクト**	**494,000**	**247,000**	重要施策 14,15 個別施策 51,52	3.3	B	情報発信媒体ごとの閲覧状況や問い合わせ件数等の効果分析の強化や就農者インタビューや営農事例等のコンテンツ充実、若年層や県外就農希望者をターゲットとした効果的な情報発信の実施が必要である。	目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、新規就農者については定着率向上のため、支援の充実を図ってほしい。	※事業実施期間 令和４年度～令和８年度
		① あぐりっしゅサポート事業（福島市新規就農検討者向け情報発信業務委託）	494,000	247,000						
	6	**スポーツによるふくしま地域活性化プロジェクト**	**1,876,000**	**938,000**	重要施策 9 個別施策 19,24,28,29	1.8	C	パラアスリート派遣事業では子供から大人まで多くの方が参加した。ともにパラスポーツに直接触れ、理解を深める機会となった。スポーツのまちづくり推進事業は、参加者や観客で賑わった一方、開催時期がインフルエンザの早期流行と重なり出場を辞退するチームが複数いた。また、福島ファイヤーボンズアウェー戦のパブリックビューイングでは、まだまだ市内でのチームの認知度とイベントの周知については低く集客に課題が残った。	目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、民間施設等とのさらなる連携についても検討してほしい。	※事業実施期間 令和４年度～令和８年度
		① パラスポーツ振興事業	176,000	88,000						
		② スポーツのまちづくり推進事業	1,700,000	850,000						
新制度拠点整備	7	**飯野地区の観光とまちづくりの拠点再整備事業**	**3,190,000**	**1,594,500**	重要施策 20 個別施策 55,56,57,58	2.8	B	内装の改修により利用者の関心を引くことができた。利用者増に向けて、PR事業の強化を行う。	目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。	※事業実施期間 令和７年度
		① UFOふれあい館内装改修工事	3,190,000	1,594,500						
	8	**高湯温泉地区の観光拠点再整備事業**	**7,040,000**	**3,520,000**	重要施策 20 個別施策 55,56,57,58	2.8	B	料金改定等の影響により減少した観光客入込数を回復させるため、リニューアルのPRを重点的に行う。	目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。	※事業実施期間 令和７年度～令和８年度
		① 「あったか湯」リニューアル事業	7,040,000	3,520,000						
		合計	**29,104,329**	**14,551,664**						

新しい地方経済・生活環境創生交付金 事業効果検証シート
（令和7年度事業分）

No.	

担当課	観光交流推進室

交付対象事業名	大阪・関西万博を契機とした地域連携によるインバウンド向け観光プロモーション事業		
単独広域	広域連携	計画期間	令和7年度―令和9年度
福島市総合計画（総合戦略）における位置づけ			
基本方針		重点施策	
産業とにぎわいを生み出す活力躍動のまち		復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進	
重点施策KPI	3	個別施策KPI	55,56,57,58
総事業費（円）		交付額（円）	
4,072,619		2,036,309	
事業概要	東北地域一体となった訪日外国人旅行客向けプロモーション体制の新規構築を行い、面での誘客を図るとともに、デジタル技術等の活用による持続可能な観光地域づくりの推進を図る。		
令和7年度の取り組み内容	○インバウンド向け情報発信事業 （1）WEBサイトのインバウンド向け改修（デザイン制作・多言語対応） 364,650円 （2）インバウンド向けコンテンツ紹介記事制作 47,143円 （3）WEBサイトへ誘導するためのWEB、SNS広告 116,286円 ○バーチャル技術を活用した観光素材制作事業 （1）各市観光素材の撮影諸経費 103,683円 （2）映像編集・多言語対応 510,714千円 ○外国人旅行客及び国内在住外国人向け観光物産プロモーション事業 （1）委託費：2,847,198円 （2）消耗品費：3,017円 （3）旅費：80,040円		

重要業績評価指標（KPI）	指標	単位	基準値	目標値	実績値
	東北六県観光消費額	円	1,402,175	1,578,014	―
	インバウンド向けプロモーション接触者数	人	0	240,000	155,500
	インバウンド向けプロモーション実施回数	回	0	2	3
	WEBサイトPV数	PV	189,400	196,976	136,116

取り組みの検証	課題・改善点	
		①各県の観光統計データが揃わないため未回答。 ②大阪・関西万博での東北絆まつり、なかの東北絆まつり、NIHONBASHI SAKURAFESへ参加。東北絆まつりが小規模会場（EXPOアリーナMATSURI）であったことから目標より減少。 ③②に記載のイベントへ参加。 ④WEBサイトの多言語対応やWEB広告を打ったものの、目標より減少。

今後の方針	③事業の継続
	1. VR等のバーチャル技術を活用し、東北の観光資源を体感できる観光素材を制作・活用する。 2. 多言語対応WEBサイトやWEB広告により、東北の認知度向上と域内周遊を促進する。 3. 国外・国内主要都市で体験型コンテンツや伝統文化を活用した観光物産プロモーションを実施し、東北の魅力を一体的に発信する。

＜今後の方針＞

①追加等さらに発展させる　②事業内容の見直し（改善）

③事業の継続　④事業の中止　⑤予定通り事業終了

有識者からの評価	②本事業は地方創生に相当程度効果があった。
意見	目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

＜有識者からの評価＞

①本事業は地方創生に非常に効果的であった。　②本事業は地方創生に相当程度効果があった。

③本事業は地方創生に効果があった。　④本事業は地方創生に対して効果がなかった。

新しい地方経済・生活環境創生交付金 事業効果検証シート
（令和7年度事業分）

No.	

担当課	出会い移住・多文化共生課

交付対象事業名	多様な人材活用促進事業		
単独広域	広域連携	計画期間	令和7年度―令和9年度
福島市総合計画（総合戦略）における位置づけ			
基本方針		重点施策	
産業とにぎわいを生み出す活力躍動のまち		移住・定住に向けた支援・受入体制の強化	
重点施策KPI	20.22	個別施策KPI	27
総事業費（円）		交付額（円）	
199,960		99,980	

事業概要	多様な人材活用に対する企業の「気づき」を促すセミナーや活用事例の情報発信等を行うとともに、人材の受け入れ、雇用に向けた相談支援やセミナー、交流会等の開催を行うことで、多様な人材活用の推進を図る。
令和7年度の取り組み内容	1 求める人材再発見支援事業 ・外国人の雇用に関しての制度解説・導入企業事例紹介事業（報償費）0円、（講師・講師アシスタント旅費）0円 2 多様な人材雇用に向けた支援事業 ・外国人材迎え入れセミナー事業（事業費補助金）199,960円 補助対象：市が事務局を担う任意団体に対し、講師への報償費（50千円×3社　計150千円）及び講師・講師アシスタント旅費（5社実費分49,960円）を補助するもの。

重要業績評価指標（KPI）	指標	単位	基準値	目標値	実績値
	雇用保険の被保険者数	人	580,442	580,442	―
	本事業により外国人雇用に繋がった件数	件	10	15	―
	外国人向け研修会・交流事業参加者数	人	0	40	―
	メタバースによるオンラインサロン参加から就労支援機関（ハローワーク等）につながった利用者数	人	0	4	―

取り組みの検証		
	課題・改善点	外国人材迎え入れセミナーの参加者が少ない。市が独自で行っている事業所向けアンケート調査によると、人手不足であるにもかかわらず外国人の雇用を検討していないと回答する事業所が多い。制度理解が進んでいないことが考えられる。

今後の方針	③事業の継続
	県や外部団体と連携し、外国人材迎え入れセミナーを周知する。また、産業別にセミナーと企業訪問ツアーの開催を検討し、事業所が参加しやすい環境をつくる。セミナーでは基礎知識を身につけ、企業訪問ツアーでは実際に外国人材を活用する現場の実態把握を目的とする。

＜今後の方針＞

①追加等さらに発展させる　②事業内容の見直し（改善）
③事業の継続　④事業の中止　⑤予定通り事業終了

有識者からの評価	③本事業は地方創生に効果があった。
意見	目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

＜有識者からの評価＞

①本事業は地方創生に非常に効果的であった。　②本事業は地方創生に相当程度効果があった。
③本事業は地方創生に効果があった。　④本事業は地方創生に対して効果がなかった。

新しい地方経済・生活環境創生交付金 事業効果検証シート
（令和7年度事業分）

No.	

担当課	観光交流推進室

交付対象事業名	福島県観光勧誘促進プロジェクト		
単独広域	広域連携	計画期間	令和7年度―令和9年度
福島市総合計画（総合戦略）における位置づけ			
基本方針		重点施策	
産業とにぎわいを生み出す活力躍動のまち		新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上	
重点施策KPI	3	個別施策KPI	55,56,57,58
総事業費（円）		交付額（円）	
7,531,750		3,765,875	

事業概要	観光周遊施策の強化・充実を図ることによって、県内の観光客入込数だけではなく、観光宿泊者数の増加を図る。加えて、観光交流人口に留まらず、その先の移住・定住人口の増も見据え、まずは新型コロナや人口減少により低下するおもてなし力（観光受入体制）の強化を図り、「再び訪れたい福島」を創り、旅行者満足度の向上やリピーター増加に繋げる。
令和7年度の取り組み内容	○ふくしま三名湯誘客促進事業：1,496千円（委託：原稿作成料、印刷費、人件費、デザイン費、管理費） 全国に向けて「ふくしま＝温泉地」というイメージを浸透させ誘客を促進するため、ふくしま三名湯（飯坂、土湯、高湯温泉）と連携して、各温泉地の関係者と新たな組織を立ち上げブランドのPRを行う。 ○ふくしまデスティネーションキャンペーン事業：4,352,750円（委託料：2,142,250円（原稿作成料、印刷費、管理費、フラッグ設置費）、観光キャラバンへのクルー派遣報償費：20千円、福島県DC実行委員会負担金：2,141千円、フラッグ設置に係る賃借料49,500円） ○観光施設バリアフリー化整備事業 1,683千円 ふくしま三名湯誘客のブランドPRにあたり、観光客の受け入れ体制の整備、強化を図るため、飯坂地区の温泉施設（公衆浴場）2施設のバリアフリー化を行う。 ・改装費（出入口：手すり、スロープ設置、脱衣所：手すり、スロープ、クッション床設置、浴室：手すり、スロープまたはステップ設置）

重要業績評価指標（KPI）	指標	単位	基準値	目標値	実績値
	観光客入込数	千人	53,923	55,423	―
	県内宿泊者数	人泊	9,686,680	9,986,680	―
	観光消費額（宿泊）	百万円	198,282	218,282	―
	―	―	―	―	―

取り組みの検証	課題・改善点	本事業によりふくしまDCを契機とした三名湯の受け入れ態勢整備とブランディングおよびDCフラッグ設置とパンフレット作成による受入態勢強化を実施したが、事業効果の定量的な検証が十分に行えなかった。効果検証を行いながら有効な手法を検討していく必要がある。

今後の方針	③事業の継続
	本事業で構築した三名湯の連携体制を基盤に、定量的な効果検証を行いながら事業を継続する。また、ふくしまDC本番・アフター期間に向けて受け入れ態勢の強化とブランディングによる誘客促進を実施する。

＜今後の方針＞

①追加等さらに発展させる　②事業内容の見直し（改善）
③事業の継続　④事業の中止　⑤予定通り事業終了

有識者からの評価	②本事業は地方創生に相当程度効果があった。
意見	目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

＜有識者からの評価＞

①本事業は地方創生に非常に効果的であった。　②本事業は地方創生に相当程度効果があった。
③本事業は地方創生に効果があった。　④本事業は地方創生に対して効果がなかった。

新しい地方経済・生活環境創生交付金 事業効果検証シート
（令和7年度事業分）

No.	

担当課	観光交流推進室

交付対象事業名	エアロスペース人材育成事業		
単独広域	広域連携	計画期間	令和7年度―令和9年度
福島市総合計画（総合戦略）における位置づけ			
基本方針		重点施策	
新ステージに向けて共創・挑戦・発信するまち		新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上	
重点施策KPI	14	個別施策KPI	53,56
総事業費（円）		交付額（円）	
4,700,000		2,350,000	
事業概要	LSAを技術者向けの機体形状の検証や若年者向け校外学習の場として活用、技能者育成プログラムの作成・検証、航空宇宙関連産業新規参入検討企業在職者向けセミナーを実施する。また、子供向けに空をテーマにしたイベントを開催する。		
令和7年度の取り組み内容	・未来を担う子どもたちに、ここでしかない空の体験と意識醸成により航空宇宙産業への興味関心を高めるとともに、空をテーマにした地域活性化を促進するため、イベント実施など年間を通した事業を展開する。 □委託料：4,999,999円（うち交付対象経費4,700千円）（人件費・備品関連費・告知関連費・管理費・管理運営業務費）		

重要業績評価指標（KPI）	指標	単位	基準値	目標値	実績値
	テクノアカデミーの関連科における県内航空宇宙関連企業への就職者数	人	12	12	―
	宇宙関連機器製造における技能者育成プログラムの作成数	本	0	2	―
	企業在職者向けのセミナーの受講者数	人	0	40	―
	―	―	―	―	―

取り組みの検証	課題・改善点	ふくしまスカイパークで実施したイベントでは、年間延べ3,500人の来場者があり、メディア露出による発信効果もあった一方で、来場者へのアンケートが振るわず、関心のある層の洗い出しは不調に終わった。今後、イベント実施時のデータ取得の手法については改善が必要である。

今後の方針	②事業内容の見直し（改善）
	航空宇宙産業の活性化を目指すため、ふくしまスカイパークを「航空宇宙産業の実証実験等の場」として利活用を図り、関連企業の下支えを行う。 また、空をテーマにしたイベントは、民間主導による実施を支援していく。

＜今後の方針＞

①追加等さらに発展させる　②事業内容の見直し（改善）
③事業の継続　④事業の中止　⑤予定通り事業終了

有識者からの評価	②本事業は地方創生に相当程度効果があった。
意見	目標達成に向けて順調に進んでいる。今後は航空宇宙関連などの新産業創出や魅力ある雇用創出に向けた広域的な連携・取り組みの強化を期待する。

＜有識者からの評価＞

①本事業は地方創生に非常に効果的であった。　②本事業は地方創生に相当程度効果があった。
③本事業は地方創生に効果があった。　④本事業は地方創生に対して効果がなかった。

新しい地方経済・生活環境創生交付金 事業効果検証シート
（令和7年度事業分）

No.		担当課	農業企画課

交付対象事業名	農業で人と人をつなぎ人を呼び込むふくしま活性化プロジェクト		
単独広域	広域連携	計画期間	令和4年度―令和8年度
福島市総合計画（総合戦略）における位置づけ			
基本方針		重点施策	
産業とにぎわいを生み出す活力躍動のまち		「人」と「活力」であふれる農業・商工業の実現	
重点施策KPI	14,15	個別施策KPI	51,52
総事業費（円）		交付額（円）	
494,000		247,000	
事業概要	・農業未経験者の若者が、福島県の農業に魅力を感じ、新規就農として地域に根ざしながら安心して農業を行える環境の整備を図る。 ・県外からの新規就農者が定着、継続的な受入、そして定着が根付くことで、県外から新規就農した先輩がサポートしてくれる安心感から、人が人を呼び込む好循環ができあがり、多くの産地が活性化することを図る。		
令和7年度の取り組み内容	・農業等PR専用サイトまたはSNS等活用による記事広告掲載（広告記事作成、Web掲載、特設ページの編集　委託料495千円（うち交付対象経費494千円））		

重要業績評価指標（KPI）	指標	単位	基準値	目標値	実績値
	新規就農者数	人	233	1,508	―
	県外からの新規就農者数	人	4	234	―
	雇用就農者数	人	127	764	―
	浜通り地域等の生産現場での作業受託件数	件	0	22	―

取り組みの検証	課題・改善点	情報発信媒体ごとの閲覧状況や問い合わせ件数等の効果分析の強化 就農者インタビューや営農事例等のコンテンツ充実 若年層や県外就農希望者をターゲットとした効果的な情報発信の実施

今後の方針	③事業の継続
	農業PRサイトやSNS等を活用した情報発信を継続するとともに、就農者インタビューなど、より訴求力の高いコンテンツを充実させる。また、アクセス数や問い合わせ件数等を分析しながら発信内容の改善を図り、県外の就農希望者に対する効果的なプロモーションを実施することで、本市への新規就農者の確保及び定着促進につなげる。

＜今後の方針＞

①追加等さらに発展させる　②事業内容の見直し（改善）
③事業の継続　④事業の中止　⑤予定通り事業終了

有識者からの評価	②本事業は地方創生に相当程度効果があった。
意見	目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、新規就農者については定着率向上のため、支援の充実を図ってほしい。

＜有識者からの評価＞

①本事業は地方創生に非常に効果的であった。　②本事業は地方創生に相当程度効果があった。
③本事業は地方創生に効果があった。　④本事業は地方創生に対して効果がなかった。

新しい地方経済・生活環境創生交付金 事業効果検証シート
（令和7年度事業分）

No.	

担当課	スポーツ振興課

交付対象事業名	スポーツによるふくしま地域活性化プロジェクト		
単独広域	広域連携	計画期間	令和4年度―令和8年度
福島市総合計画（総合戦略）における位置づけ			
基本方針		重点施策	
産業とにぎわいを生み出す活力躍動のまち		福島らしい個性とにぎわいのあるまちづくり	
重点施策KPI	9	個別施策KPI	19,24, 28,29
総事業費（円）		交付額（円）	
1,876,000		938,000	

事業概要	「スポーツ」というあらゆる人々の共通項となり得る「ツール」を用いて、県民相互の交流を促進し、高齢者や障がいのある人も含めた多様な人々が交流・活躍できる機会を創出することで、全ての県民がいきいきと活躍できる社会を形成するとともに、スポーツ観戦客を広く呼び込む取組や合宿等の誘致を図ることにより県外からの交流人口を拡大させるなど、スポーツが持つ力により地域全体の活性化を実現する。
令和7年度の取り組み内容	○パラスポーツ振興事業（委託料　176千円） 　引き続き福島市内の小・中・特別支援学校にパラアスリート等を派遣し、パラスポーツに親しむ機会を提供することで、パラスポーツを通して障がい者への理解や関心を深める。また、パラスポーツを体験する機会を創出することで競技人口、競技力向上を図る。 ○スポーツのまちづくり推進事業（委託料　1,700千円） 　プロスポーツと連携して、バスケットボールを活用した市街地の活性化事業を展開するほかスポーツ参画機会の創出を図る。

重要業績評価指標（KPI）	指標	単位	基準値	目標値	実績値
	本事業をきっかけに誘致・開催されたスポーツ関係の大会・合宿等の参加者数	人	0	2,290	―
	民間主体のeスポーツ交流イベント等の開催件数	件	0	17	―
	パラスポーツ出前講座等受講者数	人	0	4,750	―
	プロスポーツ平均入場者数	人	3,340	6,461	―

取り組みの検証	課題・改善点	パラアスリート派遣事業は小学校2校で開催し、車いすバスケットボールの体験及びパラリンピックについて学び、ボッチャ体験会では子供から大人まで多くの方が参加した。ともにパラスポーツに直接触れ、理解を深める機会となった。課題としては準備可能な競技用車いすが少なく、児童の待ち時間が長くなってしまうこと、タイヤの摩耗などパラアスリートから安全面の指摘があることから更新等を所管団体へ要望していく。 　スポーツのまちづくり推進事業はまちなか広場にて3x3大会を開催し参加者や観客で賑わった一方、開催時期がインフルエンザの早期流行と重なり出場を辞退するチームが複数いた。しかし、普段はボールに触れない方もフリースローチャレンジなどを通して気軽にスポーツに触れる良い機会となった。また、福島ファイヤーボンズアウェー戦のパブリックビューイングでは、まだまだ市内でのチームの認知度とイベントの周知については低く集客に課題が残った。

今後の方針	③事業の継続
	令和8年度は改善可能な点は見直しを行いながら、より効果的な事業となるよう努める。 令和9年度以降は継続の有無を含めて検討していく。

＜今後の方針＞

①追加等さらに発展させる　②事業内容の見直し（改善）

③事業の継続　④事業の中止　⑤予定通り事業終了

有識者からの評価	③本事業は地方創生に効果があった。
意見	目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、民間施設等の実績も含め、広く捉えることができる評価の仕組みについて検討してほしい。

＜有識者からの評価＞

①本事業は地方創生に非常に効果的であった。　②本事業は地方創生に相当程度効果があった。

③本事業は地方創生に効果があった。　④本事業は地方創生に対して効果がなかった。

新しい地方経済・生活環境創生交付金 事業効果検証シート
（令和7年度事業分）

No.	

担当課	観光交流推進室

交付対象事業名	飯野地区の観光とまちづくりの拠点再整備事業		
単独広域	単独	計画期間	令和7年度
福島市総合計画（総合戦略）における位置づけ			
基本方針		重点施策	
産業とにぎわいを生み出す活力躍動のまち		新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上	
重点施策KPI	20	個別施策KPI	55,56,57,58
総事業費（円）		交付額（円）	
3,190,000		1,594,500	

事業概要	施設の利用者の満足度を高めるために、第1展示室を宇宙空間をイメージした暗色ベースの床にし、さらにUFOをイメージした白ベースの展示台を設置する等、ミステリアスな印象を与える施設として再整備する。
令和7年度の取り組み内容	○施設の利用者の満足度を高めるために、UFOふれあい館の第1展示室を宇宙をテーマとした暗色ベースの床面の張替、「国際UFO研究所」のロゴデザインをエントランスに設置し、ミステリアスな雰囲気を演出する等の内装に改修。 ・仮設工事　145千円 ・内装工事　1,757千円 ・諸経費　830千円○UFOをイメージした白ベースの光沢のある展示台等、無機質な印象を与える備品を整備。・・内装工事　565千円

重要業績評価指標（KPI）	指標	単位	基準値	目標値	実績値
	観光客入込数（飯野地区）	人	44,029	45,349	44,201
	UFOふれあい館・UFO物産館等利用者数	人	52,752	55,521	60,410
	UFOふれあい館入館料等収入金	千円	7,225	7,586	7,814
	UFO物産館総売上	千円	18,815	19,755	20,818

取り組みの検証	課題・改善点	内装の改修により利用者の関心を引くことができた。 利用者増に向けて、PR事業の強化を行う。

今後の方針	⑤予定通り事業終了
	飯野地区の特徴的な施設であることを生かすため、今回の改修内容を含む積極的なPRを実施し、UFOふれあい館・UFO物産館を飯野地区全体の観光振興に寄与できる施設として位置づける。

＜今後の方針＞

①追加等さらに発展させる　②事業内容の見直し（改善）
③事業の継続　④事業の中止　⑤予定通り事業終了

有識者からの評価	②本事業は地方創生に相当程度効果があった。
意見	目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

＜有識者からの評価＞

①本事業は地方創生に非常に効果的であった。　②本事業は地方創生に相当程度効果があった。
③本事業は地方創生に効果があった。　④本事業は地方創生に対して効果がなかった。

新しい地方経済・生活環境創生交付金 事業効果検証シート
（令和7年度事業分）

No.	

担当課	観光交流推進室

交付対象事業名	高湯温泉地区の観光拠点再整備事業		
単独広域	単独	計画期間	令和7年度―令和8年度
福島市総合計画（総合戦略）における位置づけ			
基本方針		重点施策	
産業とにぎわいを生み出す活力躍動のまち		新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上	
重点施策KPI	20	個別施策KPI	55,56,57,58
総事業費（円）		交付額（円）	
7,040,000		3,520,000	
事業概要	共同浴場「あったか湯」を整備することで安定的に源泉管理を行い、高湯温泉の特徴である「源泉かけ流し」を最大限に活かす環境を整え満足度向上及び温泉利用者数の増加を図る。		
令和7年度の取り組み内容	あったか湯リニューアルに向けた設計業務委託 ・設計業務　7,040千円		

重要業績評価指標（KPI）	指標	単位	基準値	目標値	実績値
	観光客入込数	人	90,000	90,000	76,101
	高湯温泉共同浴場「あったか湯」の年間売り上げ額	千円	25,000	25,000	37,157
	高湯温泉共同浴場「あったか湯」のリピーター数	人	21,000	21,000	20,157
	1人当たりの観光消費額	円	27,803	27,803	31,928

取り組みの検証	課題・改善点	料金改定等の影響により減少した観光客入込数を回復させるため、リニューアルのPRを重点的に行う。

今後の方針	③事業の継続
	完成した設計に基づく改修工事の実施。 リニューアルオープンのPRの重点的な実施。

＜今後の方針＞

①追加等さらに発展させる　②事業内容の見直し（改善）
③事業の継続　④事業の中止　⑤予定通り事業終了

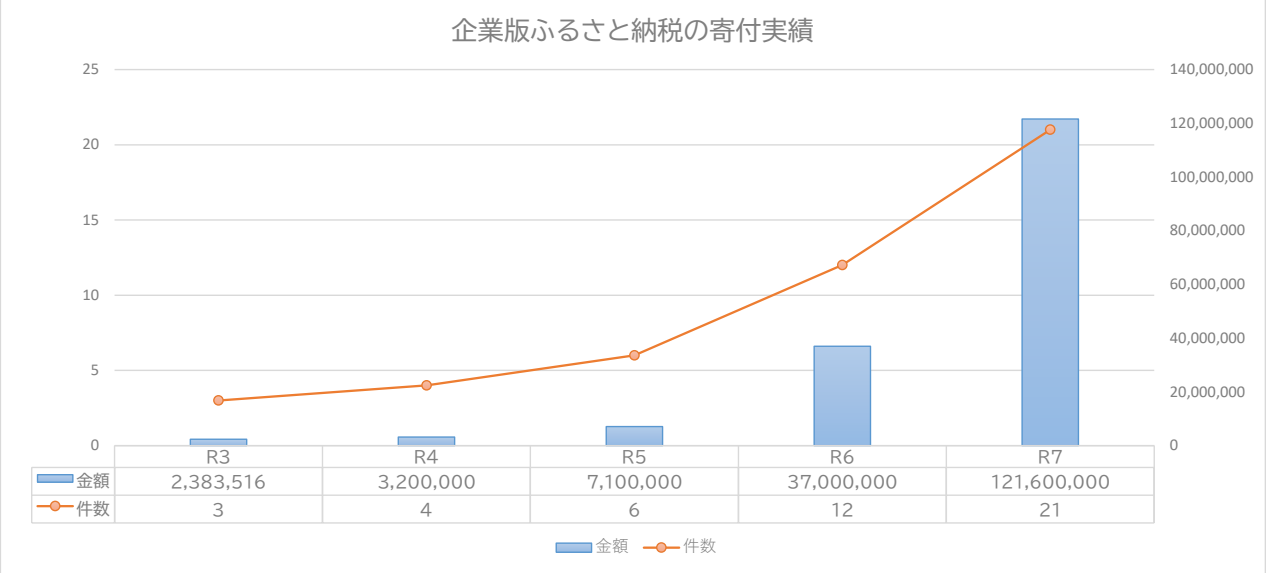
有識者からの評価	②本事業は地方創生に相当程度効果があった。
意見	目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

＜有識者からの評価＞

①本事業は地方創生に非常に効果的であった。　②本事業は地方創生に相当程度効果があった。
③本事業は地方創生に効果があった。　④本事業は地方創生に対して効果がなかった。

令和７年度 企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）事業

○企業版ふるさと納税寄附活用事業に関連する寄附実績



No.	寄附企業	寄附額（円）	寄附充当事業名	事業概要
1	株式会社サンワ	1,000,000	UFOの里づくり推進事業	飯野地区におけるUFOの里づくりを推進し、飯野地区の自立的な振興と本市ならではのキラーコンテンツとして育成・活用することを目的に設置された「UFOの里づくり推進委員会」の活動を支援する。
2	楽待株式会社	2,000,000	あぐりっしゅサポートパッケージ事業	福島市で就農を希望する方を『フレッシュ農家さん』として、現在営農中の『センパイ農家さん』が、相談・体験・研修・営農・定着にいたる各ステップで新規就農者へ必要な支援を行う。
3	株式会社SaCuRa Knowledge Factory	2,000,000	もりあい認定こども園整備事業	老朽化が著しい森合幼稚園を建て替え、新たに認定こども園として整備し、地域のモデル的な幼児教育・保育の拠点として、インクルーシブ教育・保育や休日保育、病児保育など、多様な保育を実施する。また、Ｎｅａｒｌｙ ＺＥＢの認証を目指し、ゼロカーボンシティにふさわしい施設とする。
4	ＥＮＥＯＳリニューアブル・エナジー株式会社	1,500,000	環境林整備等事業	小鳥の森周辺の森林において、森林が持つ公益機能を発揮させ環境を保全し、市民が気楽に森林の緑と野鳥、小動物等に親しめる場所として環境林を整備する。
5	一般社団法人日本中小企業金融サポート機構	100,000	もりあい認定こども園整備事業	老朽化が著しい森合幼稚園を建て替え、新たに認定こども園として整備し、地域のモデル的な幼児教育・保育の拠点として、インクルーシブ教育・保育や休日保育、病児保育など、多様な保育を実施する。また、Ｎｅａｒｌｙ ＺＥＢの認証を目指し、ゼロカーボンシティにふさわしい施設とする。
6	税理士法人経営サポートプラスアルファ	100,000	あづま山麓蔵元ツーリズム推進事業	あづま山麓エリアの自然から生み出される多様な酒（SAKE）を味わうことを通して、首都圏及び世界に売り込み、地方誘客への促進及びインバウンドを見据えた消費拡大（外貨獲得）を目指す
7	株式会社中松商会	1,000,000	もりあい認定こども園整備事業	老朽化が著しい森合幼稚園を建て替え、新たに認定こども園として整備し、地域のモデル的な幼児教育・保育の拠点として、インクルーシブ教育・保育や休日保育、病児保育など、多様な保育を実施する。また、Ｎｅａｒｌｙ ＺＥＢの認証を目指し、ゼロカーボンシティにふさわしい施設とする。
8	日本生命保険相互会社	200,000	あぐりっしゅサポートパッケージ事業	福島市で就農を希望する方を『フレッシュ農家さん』として、現在営農中の『センパイ農家さん』が、相談・体験・研修・営農・定着にいたる各ステップで新規就農者へ必要な支援を行う。
9	ジーエルサイエンス株式会社	2,000,000	もりあい認定こども園整備事業	老朽化が著しい森合幼稚園を建て替え、新たに認定こども園として整備し、地域のモデル的な幼児教育・保育の拠点として、インクルーシブ教育・保育や休日保育、病児保育など、多様な保育を実施する。また、Ｎｅａｒｌｙ ＺＥＢの認証を目指し、ゼロカーボンシティにふさわしい施設とする。

No.	寄附企業	寄附額（円）	寄附充当事業名	事業概要
10	かっこ株式会社	100,000	特色ある幼児教育・保育プロジェクト	特色ある幼児教育・保育に積極的に取り組む施設に対して費用の一部を補助し、豊かな発想や感性を持った子どもたちの成長を支援する。
11	リロン株式会社	100,000	もりあい認定こども園整備事業	老朽化が著しい森合幼稚園を建て替え、新たに認定こども園として整備し、地域のモデル的な幼児教育・保育の拠点として、インクルーシブ教育・保育や休日保育、病児保育など、多様な保育を実施する。また、Ｎｅａｒｌｙ ＺＥＢの認証を目指し、ゼロカーボンシティにふさわしい施設とする。
12	株式会社ＪＥＣＣ	1,000,000	バリアフリー推進事業	2020東京オリンピック・パラリンピックを契機に、官民一体となってハード・ソフトおよび心のバリアフリーの実践に取り組むと共に、この行動を東京大会のレガシーの一つとして次世代へつなぐことを目的に継続している「バリアフリー推進パッケージ」のうち、官民連携並びに心のバリアフリー周知啓発に関する取組を行う。
13	株式会社ＤＹＭ	100,000	窓口DX推進事業	市民への聞き取りにより必要な手続きの申請書を書かせずに作成し、関連する手続きの案内も同時に行える「書かないワンストップ窓口」システムを構築し、住民サービスの向上を目指す。
14	恵和興業株式会社	1,000,000	古関裕而を活かしたまちづくり事業	将来の作曲家を目指す次世代を担う若者の育成と、世界へ羽ばたく機会の創出を図るために、福島市独自の作曲コンクールを開催する。
15	株式会社経営サポートプラスアルファ	100,000	凍み豆腐事業継承推進事業	福島大学と連携し、気候変動に適応した「凍み豆腐」の生産方法等について調査研究を行い、地域資源の再生・保全を図る。
16	株式会社アイキューブドシステムズ	1,000,000	窓口DX推進事業	市民への聞き取りにより必要な手続きの申請書を書かせずに作成し、関連する手続きの案内も同時に行える「書かないワンストップ窓口」システムを構築し、住民サービスの向上を目指す。
17	株式会社トラストバンク	5,000,000	スポーツを通じた復興事業（基金）	スポーツを通じて、東日本大震災からの復興を後押しする。
18	CBC株式会社	100,000,000	スポーツを通じた復興事業（基金）	スポーツを通じて、東日本大震災からの復興を後押しする。
19	ＭＸモバイリング株式会社	700,000	古関裕而を活かしたまちづくり事業	将来の作曲家を目指す次世代を担う若者の育成と、世界へ羽ばたく機会の創出を図るために、福島市独自の作曲コンクールを開催する。
20	株式会社ファーマーズ・フォレスト	2,500,000	あづま山麓ツーリズム推進事業	あづま山麓エリアの自然から生み出される多様な酒（SAKE）を味わうことを通して、首都圏及び世界に売り込み、地方誘客への促進及びインバウンドを見据えた消費拡大（外貨獲得）を目指す
21	株式会社ｆｕｎｄｂｏｏｋ	100,000	あづま山麓ツーリズム推進事業	あづま山麓エリアの自然から生み出される多様な酒（SAKE）を味わうことを通して、首都圏及び世界に売り込み、地方誘客への促進及びインバウンドを見据えた消費拡大（外貨獲得）を目指す
	合計	**121,600,000**		